

進路だより

平成 28年12月9日発行

岩手県立釜石祥雲支援学校

支 援 部

中学部 後期校内実習・職場体験実習

11月7日(月)から11月18日(金)までの10日間、後期校内実習を行いました。紙すき班は「きれいな紙をたくさん作ろう」を目標に、ていねいな作業と作業スピードを意識しながら、協力して取り組みました。食品班は「お菓子を230個作ろう、売ろう」を目標に、一人一人の技術力を高め、調理や販売でのマナーを意識しながら取り組みました。11月21日(月)は報告会があり、取り組みの成果と売上金額を発表しました。来年度は、今まで学んだ技術や働く力を更にレベルアップしていきたいと思います。

紙すき班



【紙ちぎり】



【パルプ液作り】



【紙すき】



【プレス】



【アイロン】



【製品作り】



【販 売】



食品班



【計量】



【生地混ぜ】



【成形】



【袋詰め】



【食器洗い】



【買い出し】



【販売】

高等部 後期校内・現場実習

11月7日（月）から11月18日（金）までの10日間、後期校内・現場実習を実施しました。

～ 1年生 校内実習 ～

高等部1年生は、校内実習を行いリサイクル封筒作りに取り組みました。流れ作業のため、一人一人が自分の役割に責任をもって取り組み、2週間でリサイクル封筒300枚、ポチ袋170枚を完成させました。日々の作業学習や前期校内実習で学んだことを生かし、終日の作業を通して、働く意欲・体力・態度を養いました。また、1年2組の佐野和樹くんは、完成したリサイクル封筒に郵便番号欄のスタンプを押すなどの活動をしました。校内での実習でしたが、緊張感を持ち、就労に必要なマナーや態度について学ぶことができました。



リサイクル封筒とポチ袋

スタンプ押し

～ 2・3年生 現場実習 ～

高等部2・3年生は現場実習を行いました。2年生にとっては2回目の現場実習、そして3年生にとっては卒業後の進路を決める大切な実習です。挨拶や返事をはっきりすること、決まりを守り指示に従って作業することはもちろん、健康管理や安全にも心がけ2週間を過ごしました。また、自分自身の適性に対して考えることができたり、今後の課題が見えてきたりと有意義な実習となりました。現場での経験を通し、進路について考えを深めました。

ご協力いただきました各企業、福祉サービス事業所の皆様ありがとうございました。

【夢工房・カトリア】



シール貼り

【まごころ釜石】



布の裁断

【かまいしワーク・ステーション】



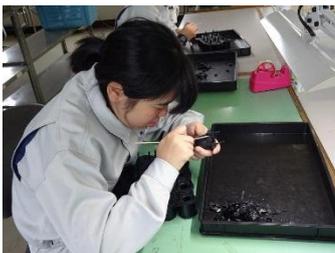
部品組み立て

【釜石市福祉作業所】



部品組み立て

【夢工房・カトリア】



部品のバリ取り

【マイヤ釜石店】



青果のパック詰め

【宮古第一病院】



流し台の清掃

【わらび学園】



乾燥昆布の袋詰め